

待機児童・子ども支援対策 調査特別委員会情報連絡

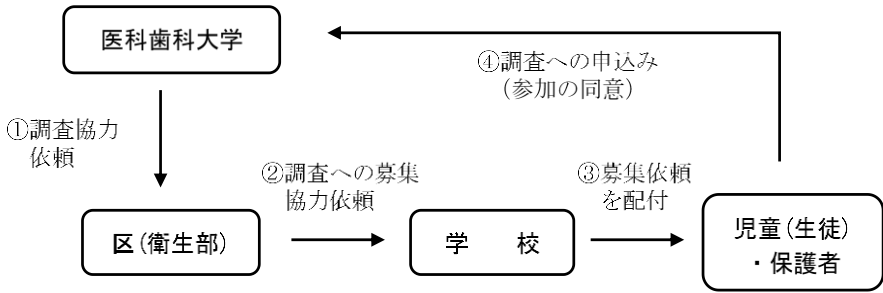
令和2年1月27日

情報連絡事項	頁
(1) 東京医科歯科大学が実施する「足立区の子どもの健康・生活習慣に関する縦断研究」への協力について・・・・・・・・・・	2
(2) あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）関係 機関ネットワーク連絡会議の実施結果について・・・・・・・・・・	4

(衛 生 部)

待機児童・子ども支援対策調査特別委員会情報連絡

令和2年1月27日

件名	東京医科歯科大学が実施する「足立区の子どもの健康・生活習慣に関する縦断研究」への協力について
所管部課名	子どもの貧困対策担当部子どもの貧困対策担当課 衛生部こころとからだの健康づくり課
内容	<p>東京医科歯科大学より「足立区の子どもの健康・生活習慣に関する縦断研究」への協力依頼があったため、下記のとおり協力する。</p> <p>【目的】 小学生から青年期、成人期までの一貫したデータを共有し、エビデンスに基づく効果的な健康づくり施策を推進する。</p> <p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に、東京医科歯科大学から平成28年度に実施した「子どもの健康・生活実態調査」の児童・生徒及びその保護者を対象とした追跡調査への協力打診あり。 区は、経営会議及び個人情報審議会での承認を経て、当該調査に協力することとなった。 初回の学校への協力依頼は、平成29年度に実施済みである。 <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 現在中3（平成28年度：小6）への協力依頼</p> <p>(1) 調査協力依頼対象校 入谷中学校、蒲原中学校、江南中学校、千寿桜堤中学校、第五中学校、花畑北中学校、六月中学校</p> <p>(2) 調査協力依頼 <流れ></p>  <pre> graph TD A[医科歯科大学] -- "①調査協力依頼" --> B[区(衛生部)] B -- "②調査への募集協力依頼" --> C[学校] C -- "③募集依頼を配付" --> D[児童(生徒)・保護者] D -- "④調査への申込み(参加の同意)" --> A </pre> <p><時期></p> <ol style="list-style-type: none"> 3月上旬 3月4～6日頃 3月（卒業式の前まで） 随時、東京医科歯科大学へ申し込み

2 現在17歳（平成28年度：中2）への調査実施

(1) 東京医科歯科大学が実施

縦断調査に係る健康診断

	参加依頼 配付件数 (A)	参加者件数 (B)	参加率 (B)/(A)%
7校計	588	21	<u>3.6%</u>

- ・ 身体測定的项目…身長、体重、腹囲、血圧
- ・ 血液検査の項目…ヘモグロビンA1c、総・HDL・LDLコレステロール等
- ・ 参加者には、東京医科歯科大学より調査1回あたり5千円～1万円の謝礼を支払う予定。

<参考>

【子どもの健康・生活実態調査】

	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5
対象者1	小1	小2		小4		小6		中2	
対象者2			小1		小1		小1		小1
対象者3		小4 小6 中2 (一部)		小6 中2 (一部)		中2 (一部)			

対象者1：同じ集団を追跡することで、継続的変化及び因果関係を調べる

対象者2：同じ年代を継続的に見て、政策（妊娠期支援）を評価する

対象者3：他年代の実態把握及び対象者1との比較

【東京医科歯科大学 縦断調査】

	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
中2		依頼		17歳			20歳				
小6				依頼		17歳			20歳		
小4						依頼		17歳			20歳
小2								依頼		17歳	

※R20年度まで実施

問題点
今後の方針

東京医科歯科大学の依頼に基づき、各対象校との調整を図り、参加依頼文を配付する。

待機児童・子ども支援対策調査特別委員会情報連絡

令和2年1月27日

件名	あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）関係機関ネットワーク連絡会議の実施結果について
所管部課名	衛生部保健予防課
内容	<p>平成28年度から実施している「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）」事業における第2回目の連絡会議を開催したので、結果を報告する。</p> <p>1 名称 あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）関係機関ネットワーク連絡会議</p> <p>2 目的 （1）ASMAP事業の周知 （2）医療機関との連携強化</p> <p>3 日時及び場所 令和元年12月2日（月） 午後3時～5時 足立区役所 庁舎ホール</p> <p>4 出席者 （1）庁外 13機関 19名 区内産科医療機関、近隣区産科医療機関、区内小児医療機関 （2）庁内 9機関 33名 足立福祉事務所、こども家庭支援課、衛生部関連所管 計22機関 52名</p> <p>5 会議内容 （1）講演 「妊娠届出情報からのリスクアセスメントの評価分析」 講師 東京医科歯科大学教授 藤原 武男氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足立区の妊娠届時のアンケートからDVは予測可能である。 ・ ASMAPによる妊娠届時の情報を活用した保健師による家庭訪問を中心とした支援は、虐待予防に効果的である。 ・ 虐待（口ふさぎ、揺さぶり）のリスク因子は、若年妊婦（24歳以下）、貧困（やりくり大変、苦しい）、第一子である。

	<p>(2) ASMAP事業説明 (3) 複数機関が関わったDV事例報告 (4) 各機関と「特定妊婦の現状やフォロー体制について」の情報交換</p> <p>※テーマ別に事例を学びあい、情報交換を行うことで、関係機関の役割が明確になり、タイムリーな母子支援が可能になった。 また、顔の見える関係づくりにより、会議終了後の通常業務における関係機関相互の連携のハードルが下がった。 これらの連携強化により、区民の育児困難感の減少や虐待予防につなげることができる。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>連携強化のため、引き続きネットワーク会議を実施する。</p>